

政務活動報告一覧表【県外・国外】

(参考)

年月日	活 動 先			政務活動の内容	報告書 番 号	関連領収 書等番号
	住 所	活動先の名称	対応者			
R1. 7. 25～ 7. 26	東京都	三会堂ビル 赤坂インターシティAIR	林野庁、中央懇 談会、国会議員 他	森林・林業・林産業活性化促 進地方議員連盟全国連絡会議	No. 1	709 714 715
R1. 7. 27～ 7. 31	モンゴル	ウランバートル ゾーンモド市	モンゴル日本大 使館、ゾーンモ ド市長・議長他	外国人材交流事業の進展調査	No. 2	803 910
R1. 9. 6	東伯郡三朝 町	ブランナールみ ささ	鳥取・岡山県境 議員連盟会員及 び両県執行部	鳥取・岡山県境議員連盟総会 及び意見交換会	NO. 3	907
R1. 11. 6	鳥取市	白兔会館	県内自治体立病 院関係者及び当 該市町村長	自治体立病院を考える議員の 会勉強会及び意見交換会	NO. 4	1103
R1. 11. 11	東京都	三会堂ビル	林野庁、中央懇 談会、国会議員 他	森林・林業・林産業活性化促 進地方議員連盟全国連絡会議 役員会	NO. 5	1108
R1. 11. 19	東京都	参議院議員会館 国土交通省・財 務省 自民党本 部	世話人、国土交 通省副大臣、自 民党国会議員、 財務省主計局長	道路財源確保を求める都道府 県議会議員の会世話人会	NO. 6	1110 1112
R2. 2. 7	東京都	国立劇場		令和2年北方領土返還要求全 国大会	NO. 7	203 207

## 政務活動報告書 No.1

活動事項	森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議
活動年月日	令和元年7月26日(金)
場所	東京都 三会堂ビルA会議室及び赤坂インターシティAIR
活動の相手方	林野庁長官・森林整備部長他、全国木材組合連合会副会長、全国森林組合連合会常務理事、日本森林林業振興会常務理事、林活地方議員連盟役員、国会議員(自民党農林食料戦略調査会会長他)
目的・内容・結果等	<p>【目的】 鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の会長として全国連絡会議に出席し、森林・林業・林産業の振興をはかるため、情報収集と意見交換を行いながら、鳥取県における施策への提案・提言を行う。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 元年度第2回役員会に出席             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和元年度定時総会提出議案について確認と協議</li> <li>(2) 林野庁森林整備部長の講話を聴取                 <ul style="list-style-type: none"> <li>○林野公共事業等の推進について 予算概要、路網整備と主伐後の再造林推進、国土強靱化に向けた適切な森林整備・保全、林野公共事業の効果等</li> <li>○森林環境税について</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2. 元年度定時総会             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全国連絡会議交代役員の紹介</li> <li>(2) 議事                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度事業報告及び収支決算、監査報告(内田)</li> <li>・元年度事業計画及び収支予算、会費の賦課と徴収方法について</li> </ul> </li> <li>(3) 講演 「木造都市への挑戦—<sup>まち</sup>都市に森をつくる」 講師 日本木造耐火建築協会 代表理事会長 木村一義氏 山形県で会社設立後、木材を活かした都市造りを進められた活動について拝聴。</li> <li>(4) 要請活動 「森林・林業・木材産業施策の積極的な展開提言」について、自民党と林野庁に出向いた。</li> </ol> </li> </ol>

**【結果（成果）等】**

林野庁との予算折衝において、来年度も森林整備に関する予算については概ね理解をいただき、本年度同様の予算確保を約した。

関連領収書番号

709、714、715

## 政 務 活 動 報 告 書 No.2

活 動 事 項	外国人材交流事業の進展調査
活 動 年 月 日	令和元年7月27日(土)～7月31日(水)
場 所	モンゴル国ウランバートル市、中央県ゾーンモド市
活動の相手方	在モンゴル日本大使館林参事官、ゾーンモド市長・議長・総務課長・議会事務局
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 各地域で、外国人材を積極的に受け入れようとする取り組みが始まっているが、昨年が続いて、受入の課題を調査する。</p> <p><b>【内容】</b> 日程と訪問先及び用務の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月27日(土) 成田からウランバートルへ移動・出国</li> <li>・ 7月28日(日) ウランバートル市 元法務部長宅を訪問 昨年調査した母子救済施設への通学支援物資寄付について、意見交換を行った。</li> <li>・ 7月29日(月) 午前中 ウランバートル市 在モンゴル日本大使館を表敬訪問 林参事官から人材交流についての意見を聞いた。</li> <li>・ 同日 午後 ゾーンモド市 市役所を訪問し、日南町からの消防車を寄贈することとなり、目録によって贈呈式を行った。実車は来月中旬に届く予定。</li> <li>・ 7月30日(火) ゾーンモド市 ゾーンモド市と人材受入れに向けた協議を行った。 日南町からは、「日野高校へ留学による介護人材の育成を行い、その後技能実習生として日南町の介護施設に就職」という、鳥取県と日南町が進めている事業スキームを説明。まず留学生として高校卒業生の斡旋をお願いした。 ゾーンモド市側は、高校生より大学生や家族を持つ女性をターゲットにするほうが人材は集まりやすいという意見であった。 また、ゾーンモド市から、街路樹の管理など都市景観形成についての専門家の派遣要請があった。 そのほか、ゾーンモド市と日南町の友好が市民に伝わるモニュメント的なもの(看板や像等)を設置できないか提案があ</li> </ul>

った。また、市博物館に展示したいので、日南町の写真等を提供してほしいと要請があった。

- ・ 同日 午後  
モンゴル伝統の運動大会「ナーダム」に参加して、遊牧民の生活を体験した。
- ・ 7月31日（水） ウランバートルから成田へ移動、帰国

#### 【結果（成果）等】

大使館参事官から、両国行政の協力下での人材交流は信頼のおける制度となる。留学に際しては、大使館はビザ取得に便宜を図るという好意的な対応を示していただいた。

また、モンゴルは企業的農業が主流であるため、企業の社員研修としての農業人材受入れなら可能性があるということで、これに関しては、就職してほしい日南町としては期待が薄い。

ゾーンモド市との意見交換においてさらに明確となった課題として、

- ・ 日南町近辺にモンゴル人の管理団体がいないため、実習生への適切な管理ができない。
- ・ 日南町にモンゴル語のできる人材がいないため、ゾーンモド市とのスムーズな情報交換ができない。

これらの対策として、

- ・ 高校生については、留学生として日野高校の管理下に置くことができる。
- ・ 一般社会人実習生については、町主導で管理団体を設立する。
- ・ 鳥取県の交流員を一時的に任用する。

上記について、日南町長から事業を進展させるための要請やアドバイスを求められており、年内には確定させたい。

日南町の取り組みが、他町や各種団体に波及して人材不足の解消に向け、今後もモンゴル中央県との友好関係を継続し、人材交流が円滑に進むよう活動を行っていく。



(ゾーンモド市役所前で記念写真)

関連領収書番号

803、910、715

日 程

月日	使用交通機関等	訪問地名	日程の概要	宿泊先
(7/26東京滞在)			(別用務)	
7月27日 (土)	シャトルバス移動 OM502便 14:40→19:15	モンゴル国 ウランバートル	東京→成田空港 成田空港→ ウランバートル	ウランバートル市 内ホテル
7月28日 (日)	自動車	ウランバートル市内	●元法務部長宅訪問	法務部長宅
7月29日 (月)	自動車 午前10:30 午後	ウランバートル市 ゾーンモド市	日南町訪問団と合流 ●在モンゴル日本大使館 表敬訪問 ●ゾーンモド市役所表敬 訪問 ●消防車寄贈式	法務部長宅
7月30日 (火)	自動車 午前中 午後	ゾーンモド市	●ゾーンモド市との協議 ●ナーダム参加	ウランバートル市 内ホテル
7月31日 (水)	OM501便 07:45→13:40		ウランバートル→成田空 港 (成田→仙台 公務)	

## 政務活動報告書 No.3

活動事項	鳥取・岡山県境議員連盟総会及び意見交換会
活動年月日	令和元年9月6日（金）
場 所	東伯郡三朝町 ブランナールみささ
活動の相手方	鳥取・岡山県境議員連盟会員、両県執行部（道路関係課、林政関係課）
	<p><b>【目的】</b> 鳥取・岡山両県の県境を接する地域の県議会議員が、県境に関することをはじめとした共通する課題を解決するため、情報交換など交流を図る。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>○令和元年度総会 議事1. 役員改選 本年度の会長は鳥取県で、内田が就任 2. 平成30年度事業報告及び収支決算 承認 3. 令和元年度事業計画及び収支予算 承認</p> <p>○意見交換会 テーマ1：鳥取・岡山を結ぶ道路の整備状況 ①中国横断自動車道岡山米子線の暫定2車線区間の4車線化について（連携した取組） ・鳥取県・岡山県各県の4車線化に向けた取組を、各県担当部署から報告 鳥取県は、4車線化促進期成同盟会等と東京で総決起大会を毎年開催している。 岡山県は、岡山自動車利用促進協議会等と連携し、4車線化の必要性を強く訴えている。 ・鳥取県・岡山県合同で実施した4車線化に向けた取組 ②中国横断自動車道姫路鳥取線の進捗状況について ③地域高規格道路 北條湯原道路の進捗状況について</p> <p>テーマ2：新しい林業管理について ①岡山県からの報告 ・森林経営管理制度の推進に係る市町村支援について ・市町村の森林経営管理制度への取組事例紹介 ②鳥取県からの報告 ・新たな森林管理システムに関する県内の主な動きについて ・新たな森林管理システムの推進に係る県の取組事例紹介</p>

**【結果（成果）等】**

高速道路の早期4車線化や利用促進の取組が紹介され、4車線化の要望活動だけでなく、一般の住民や企業等に利用を促し、鳥取・岡山を結ぶ道路の必要性を強く訴えたい。

新たな森林経営管理についても、両県の事例が紹介され、各県における今後の取り組みの参考になったかと思う。

特に、本年4月に日南町が開校した「にちなん中国山地林業アカデミー」は、鳥取・岡山では唯一の林業学校で、即戦力人材育成が図られていることは注目に値する。

今後も、中山間地域における農林業やインフラ整備等について、連携して取り組むことのできる情報交換を行うことが、この議員連盟の意義であると考えている。

関連領収書番号

907



## 政務活動報告書 No.4

活動事項	自治体立病院を考える議員の会勉強会及び意見交換会
活動年月日	令和元年11月6日(水)
場 所	鳥取市 白兔会館
活動の相手方	厚生労働省医政局総務課長、自治体立病院関係者及び管轄市町長
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 厚生労働省が、自治体立病院の再編・統合の再検証に係る病院名を一方向的に突然公表し、該当する県及び市町に動揺を与えた。議員連盟として、厚労省担当課長から説明を聞き、当該市町を交えた今後の取組・要望活動等を検討する。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>勉強会</p> <p>1. 厚生労働省からの説明 議題「自治体立病院の再編・統合の再検証に係る国の動き等について」 厚生労働省医政局 佐々木総務課長</p> <p>①当面の地域医療構想等の推進に向けた取組について 2040年の医療提供体制を見据えた3つの改革</p> <p style="margin-left: 20px;">I. 医療施設の最適配置の実現と連携 地域医療構想の実現 2025年まで</p> <p style="margin-left: 20px;">II. 医師・医療従事者の働き方改革 医師の時間外労働に対する上限規制 2024年～</p> <p style="margin-left: 20px;">III. 実効性のある医師偏在対策 偏在是正の目標年 2036年</p> <p>②具体的対応方針の再検証に関するこれまでの議論の整理と方向</p> <p>③具体的対応方針の再検証までの経緯</p> <p>④再検証に係る基本的考え方</p> <p>⑤再検証の要請</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割の見直し</li> <li>・2025年に持つべき医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）別の病床数の見直し</li> </ul> <p>対象となる全ての領域で「診療実績が少ない」「類似かつ近接」とされた医療機関に対して具体的対応方針の再検証を要請する。</p>

◎ 説明の重点

2025年に向けて地域医療構想を実現すること。

そのために、一定に条件を設定して急性期機能等に関する医療機能を分析し、各医療機関が担う急性期機能や必要な病床数等の再検証を、各医療機関が行うもの。必ずしも医療機関の統廃合を決めるものではなく、病院が担うべき役割や必要なダウンサイジング・機能分化等の方向性を機械的に決めるものではない。

意見交換会

再編・統合検討を名指しされた病院関係者から、

「唐突な公表は住民や患者、職員の不安をあおり、信頼関係を壊した」

「新規採用者の辞退など、風評被害を懸念している」

「公立病院の指命は自然災害時の患者受入先になっており、一定の病床数確保は不可欠」

「地域医療存続のためと言われるが、医師数の都市部偏重を是正しないと地方はもたない」など、

厚労省の拙速な対応を批判する意見が相次ぎ、いずれも今回の公表を白紙撤回するよう訴えた。

【結果（成果）等】

必ずしも医療機関の統廃合を決めるものではなく、病院が担うべき役割や必要なダウンサイジング・機能分化等の方向性を機械的に決めるものではない、と言いつつ、今回の分析だけで判断しえない診療領域に実情に関する知見も補いながら、2025年のあるべき姿に向けて見直しは、各医療機関や包括する自治体で考えるようにとは、地方に結論を押しつけており無責任である。

厚労省は真に地域における公立・公的医療機関の重要な役割を認識していないとは思わないが、今回の発表は、病院がなくなるかもしれないという、住民や患者に不安を与えただけである。地域の公立・公的医療機関は、いわば住民の最後の砦。

地方の実情や個別の事情をくみ取ったデータで分析し、指導・助言を行ってほしい。

自治体立病院を考える議員の会では、今後も厚労省の動きに注視し、研究・要望活動を行って、公立・公的病院の存続に取り組んでいく。

関連領収書番号

1103

政務活動報告書 No.5

活動事項	森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議役員会
活動年月日	令和元年11月11日(月)
場所	東京都 三会堂ビルA会議室
活動の相手方	林野庁次長・森林整備部長、日本林業協会会長、全国森林組合連合会常務理事、全国木材組合連合会参与、日本森林林業振興会常務理事、林活地方議員連盟役員、国会議員(自民党農林食料戦略調査会会長他)
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の会長として全国連絡会議に出席し、森林・林業・林産業の振興をはかるため、情報収集と要望活動、意見交換を行いながら、鳥取県における施策への提案・提言を行う。</p> <p>【内容】</p> <p>1. 役員会議事</p> <p>(1) 「林野関係予算に関する要請書」について 要請書の内容確認</p> <p>(2) 要請活動について 午後、自民党の農林食料戦略調査会ほか関係部会及び林野庁へ赴き要請書を手渡す。</p> <p>2. 講話</p> <p>林野庁森林整備部長小坂善太郎氏から「最近の林政の状況について」聞いた。</p> <p>○森林整備事業・治山事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算推移について 令和2年度予算概算要求では、対前年122.0%を要求</li> <li>・国土強靱化に向けた取組</li> </ul> <p>○森林環境譲与税及び森林経営管理制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林環境譲与税の市町村の活用事例10の紹介</li> <li>・市町村支援に係る島根県の実例の紹介</li> </ul> <p>3. 要請活動</p> <p>要請先</p> <p>①自民党 農林食料戦略調査会、農林部会、林政対策委員会、都市(マチ)木造化推進議連</p> <p>②林野庁 長官及び次長</p>

**【結果（成果）等】**

林野庁においては、林野公共事業予算を、過去最高であった平成21年度当初予算規模の確保を目指している。

令和元年度は、大型の台風上陸が続き、山地・森林・林道等被害状況も甚大であった。特に関東甲信地方、東北地方では死亡者、重傷者、不明者が相次ぎ、被害状況は11月11日時点でも調査中とのこと。鳥取県でも被害額は発生しているので、災害復旧予算はもとより、森林整備や治山事業の予算増加について、国会議員、林野庁等に要望を行っていく。

関連領収書番号

1108

政務活動報告書 No.6

活動事項	道路財源確保を求める都道府県議会議員の会世話人会
活動年月日	令和元年11月19日(火)
場所	東京都 参議院議員会館、国土交通省、自民党本部、財務省
活動の相手方	青木一彦国土交通副大臣、国土交通省企画課長・道路局長・官房審議官・環境安全防災課長、自民党国会議員、財務省主計局長
目的・内容・結果等	<p><b>【目的】</b>            高速道路をはじめとする真に必要な道路整備を着実に進めるための財源確保を求めて活動を行う。</p> <p><b>【内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>世話人会              昼食を摂りながら意見交換。12:00 から世話人会              国土交通省の挨拶の後、各省庁へ要望する内容の趣旨説明を行い、国土交通省へ要望書手交</li> <li>要望活動              国土交通省へ赴き、青木一彦国土交通副大臣と面会、要望書手交</li> <li>ITS推進・道路調査会(自民党本部)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ITS世界会議の報告</li> <li>・道路財源確保を求める都道府県議会議員の会及び全日本トラック協会から要望書提出</li> <li>・国土交通省道路局長から道路行政を取り巻く最近の情勢について説明                道路関係予算の推移、台風19号における被災自治体の支援等について</li> </ul> </li> </ol> <p><b>【結果(成果)等】</b>            中国横断自動車道岡山米子線においても蒜山IC～米子ICが優先4車線化に決定されたところであるが、山陰と山陽を結ぶ道路は重要路線であることが証明され、一年でも早く予算確保されて、着工を望むところである。            そのほか、公共交通についての情報を得ることができた。            どこの地方においても、過疎地ではバスの存続が課題となっている。免許を返納した高齢者にとって、バスやタクシーは必要不可欠の移動手段で、バス路線が廃止されるとたちまち生活に支障が生じることとなる。しかし、バス路線の継続のための経費が地</p>

方自治体の財政に大きく負担がかかっており、バス路線の維持について毎年検討がなされている。

国土交通省では、そのような公共交通について、特に過疎地において将来的には自動運転バスの導入も検討するということである。

自動運転については、一部の地域で試験運転もされていると聞くが、果たして日野郡のような、平坦地の少ない山間地域にスムーズな運行ができるかどうか。しかも、完全な自動運転ではないとも聞く。

情報収集、学習を行い、高齢者・障がい者等に対する福祉に、道路交通の面から取り組んでみたい。

いずれにしても、社会資本整備の根幹ともいえる道路整備について、財源の確保は不可欠の要素で、今後も道路財源確保の会の活動に取り組んでいく。

関連領収書番号

1110、1112

政務活動報告書 No.7

活動事項	令和2年北方領土返還要求全国大会参加
活動年月日	令和2年2月7日(金)
場所	東京都千代田区 国立劇場
活動の相手方	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 長年取り組んでいる、北方領土返還要求の現状を把握する。</p> <p><b>【内容】</b>  <b>第一部 トーク</b>          北方領土、自然の魅力を三者が語られた。          近年、北方四島の自然が注目されている。特に2016年に日露間で合意された「新しいアプローチ」に基づく経済活動の一環として、観光パイロットツアーが初めて実施されたことで、関心が一段と高まっている。</p> <p><b>第二部 式典</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会実行委員長、内閣総理大臣、各界各層代表、外務大臣、北方担当大臣 の挨拶、決意等の報告</li> <li>・大会アピールの決議</li> </ul> <p><b>【結果(成果)等】</b>          北方領土返還実現のための外交交渉を強力に後押しするためには、世代を超えて国民一人ひとりがこの問題を正しく理解し関心を高め、国民世論の結集を図ることが大切で、返還要求運動には青年団時代(20代)から取り組んでいる。北方四島交流事業にも2回参加し、その内の一度は団長として四島を訪れた経験も持つ。今般数年ぶりに全国大会に参加し、現在の四島の現状を調査。以前とは大きく変わり、ロシアの政策によって様々な公共施設や交通アクセス等が改善され、ロシア人の観光地となっているようである。本土からの距離を沖縄と比べると、根室半島から最も遠い択捉島においても択捉島のほうがはるか短く、本来なら日本人の観光地でもあるはずである。          元島民の多くが島に戻れない間に高齢または亡くなり、暮らした経験のない家族が多くなっていることは、それだけ長く時間が経過してしまっている。          領土問題の解決には、全国民挙げての力強い世論の支持が必要</p>

で、その世論を反映させて、日ロ両国の平和条約締結、ロシアに対して早期返還を粘り強く交渉することであると考える。

今後も署名活動等、県民に北方四島は日本の領土であることをアピールしていきたい。

関連領収書番号

203、207



【政務活動報告書（県内）】

年月日	活動先			政務活動の内容	関連 領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
R1. 8. 26	鳥取市	県議会		政調政審	811
R1. 9. 5	鳥取市	白兔会館	鳥取県自衛隊 家族会	自衛隊家族会中国地域協議会	906
R1. 9. 6	東伯郡三朝町	ブランナールみさ さ	鳥取・岡山県境 議員連盟会員 及び両県執行 部	鳥取・岡山県境議員連盟総会 及び意見交換会	907
R1. 10. 4	鳥取市	しいたけ会館 対翠閣	県内森林組合 代表	令和2年度森林・林業施策に 関する意見交換会	1003
R1. 11. 6	鳥取市	白兔会館	県内自治体立 病院関係者及 び管轄市町村 長	自治体立病院を考える議員の 会勉強会及び意見交換会	1103
R1. 11. 8	鳥取市	ホテルモナーク鳥取	日本伐木チャン ピオンシップ 実行委 員会他	日本伐木チャンピオンシップ 開会式及びレセプション	1107
R1. 11. 15	鳥取市	県議会		政調政審	1111
R1. 11. 25	鳥取市	県議会		政調政審	1117
R2. 1. 30 ～1. 31	鳥取市	県議会		政調政審	117